

作成: 芝崎

52. 日本語の難しさ篇: 噛みあわない会話(最近の事例紹介)

(1) 業者が点検の為に家に来るとの事、何時か家内が聞くと、

(家内) ジュウジニ。 (私) 【12と聞こえる。】了解。

(私) 【12時になってから。】業者きた？(家内) 10時に来たよ。・・・？？

「に」の一文字で時間が変わる不思議、「に」を言わないか、省略しないかで伝わる話

(2) 友人との会話

(友人) 歯科に行くってどこへ？ (私) 鶴見

(友人) <びっくりした様子> 歯科に行くのにあえて鶴見<駅名>迄通っているの？

(私) 横浜にある鶴見歯科だよ。・・・お互いに笑う。・・・

一つの漢字で地名・苗字等同じ漢字にはご用心(誤解の素)！！

(3) 無言の不親切な対応: 珈琲ショップで珈琲を頼むと、私の前にミルクケーキが

(私) えっ！ <びっくり> (店員) <私の前に頼んだ方の飲み物であり、無言ですぐ移動>

(私) <一言あっても？なんかおかしい対応にイラっとする>

無言はダメ、一言必要では？

(4) 私がお湯を沸かしていたら、(家内)《急に》「沸騰していない?!」

(私)《何を急に言っているのかと・・・「沸騰しているよ」の方がわかりやすいのでは》

否定語の扱いはむずかしい。一つでなく、二面性を持つゆえに要注意！！

伝: (伝)えるための言葉なのに

達: (達)成されず、ちょっとした誤解をまねく

不: (不)足している、省略しすぎでは誤解の素、もう一言必要では？

足: (足)らない事を補なわないと事例は些細なことだけど、内容によっては大きなトラブル・誤解に繋がりにりかねない、改めて日本語の難しさをかみしめる。



以上